

平成24年度 第4回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 平成24年9月18日(火) 13:30~15:30
- 2 開催場所 小平市中央公民館 会議室
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 11名(2名欠席)
事務局 中央公民館長、館長補佐、管理係長、分館主査 11名
- 4 傍聴者 3名
- 5 配布資料 (1) 第4回・第5回東京都公民館連絡協議会委員部会報告・・・資料1
(2) 第4回東京都公民館連絡協議会職員部会報告・・・資料2
(3) 平成24年度小平市公民館定期講座実施状況表・・・資料3
(4) 第35回上水南公民館まつりのご案内・・・資料4
(5) 平成24年度第3回公民館運営審議会会議要録・・・資料5
(6) 小平市公民館運営審議会委員研修会について・・・資料6
- 6 次第 (1) 館長報告
(2) 平成24年度公民館定期講座実施状況について
(3) 平成24年度東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会・職員部会からの報告について
(4) 公民館運営審議会自主研修会・主催講演会について
(5) 第53回関東甲信越静公民館研究大会(長野県松本市)について
(6) その他

会議の概要

1 館長報告

(1) 市議会 9 月定例会について (9 月 3 日～9 月 27 日)

- ①教育委員の任命と教育長の就任について
- ②公民館に関する代表質問・一般質問について

・「小平市が目指す教育の姿について」

公民館、図書館の再編統合、市民サービスの一環としての無線 LAN の整備実施について

(回答) 再編統合については、建替えに合わせて、他の公共機関との役割・機能の整備を図り、検討する。無線 LAN については、実施予定はない。他の公共機関とのバランスを考えながら実施していく。

・「O157 による感染症に特別な対策をするべき」

中央公民館喫茶コーナー「いこい」での感染症対策について

(回答) 手洗い、調理器具、生野菜等の洗浄を徹底し、冷凍食品、レトルト食品については、電子レンジで十分に加熱し、提供している。

・「保護者と一体になり子どもへのネットリテラシーを進めることについて」

公民館でインターネットリテラシーやネット犯罪についての講座の実施状況について

(回答) インターネットリテラシーに関する講座は実施していないが、今後、要望を踏まえた上で検討する。

(2) 東京都公民館連絡協議会館長部会について

以下の議題について、各市情報交換をした。

- ①使用料の有料化について
- ②施設の老朽化、耐震化への対応について
- ③行財政改革の影響 (予算削減や類似施設との統合等) について

(3) 仲町公民館・仲町図書館の改築工事について

4 回目の工事請負契約にかかる入札が不調になった。デザインが個性的で、建築工事の難易度が高いことや、材料が特注になっていること、震災の影響で人件費の高騰していること等が原因として考えられる。現在、原因をさらに調査しており、リニューアルオープンの時期について検討中である。

(質疑応答)

委員 多摩地区全体として有料化の流れはあるのか。

事務局 有料としているのは、町田市、東村山市、狛江市、多摩市、あきる野市で、今後の見通しについては、各市でそれぞれ検討している。

委員 仲町公民館・図書館について、今後予算額を上げる予定はあるのか。デザインにこだわらず、一般的なデザインに変更することも考えてはどうか。

事務局 市の方針としては、今のデザインは活かしつつ、地下の面積の縮小やガラス面を壁面に変更することを検討している。予算については、12月定例会で見直しをする可能性がある。

2 平成24年度公民館定期講座実施状況について
事務局より資料10について説明した。

<その他>

- ・市民学習奨励学級の進捗状況について
- ・友・遊こどもまつりについて

(意見等)

委員 応募者が定員を上回っている講座があるが、抽選で落選した応募者へのフォローはしているのか。

事務局 昨年度、応募が多かった講座を、今年度、別の館で実施した。年度内ですぐに希望を反映することは難しいが、複数年度にまたがって、受講の機会を提供している。

委員 平櫛田中の講座に関連して、小平の有名人や伝統芸能等、小平の特徴を活かした講座は、各地域、各館で、今後も実施してほしい。

事務局 市内に住んでいても、平櫛田中美術館に足を運んだことのない人が多い。市内の施設の有効活用を図り、市民が市を知るきっかけづくりになればよいと考え

ている。

委員 市内を歩き、市を知ることをテーマにした講座について、高齢化が進む中で、いずれは参加してみたいという潜在的な参加意識を持った世代があるので、今後も継続してほしい。

委員 これだけ受講者が集まるのは、地域のニーズをよく把握しているからだと感じた。今後も、内容、時間帯を工夫し、参加型の学習を進めていくとよいのではないか。公民館が役割を果たすためには、講座を通して、地域の人々のつながりを広げ、それがまちづくりに転換されることが重要になる。そうした実態はあるのか、そのための工夫はしているか。

事務局 受講者自身がイベントを企画する等、参加型の講座に力を入れて企画している。同じテーマに興味を持った人が集まって、一緒に活動することで、満足するのではなく、そこからさらに人のつながりができるよう工夫している。

委員 障がいのある方や、幅広い世代の人が参加しやすいような PR をしてほしい。

事務局 公民館が地域の人々の居場所になるような方向で考える必要があると感じている。

3 平成 24 年度東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会・職員部会からの報告について

委員、事務局より資料 1、2 について説明した。

4 公民館運営審議会自主研修会・主催講演会について

(1) 自主研修会（8 月 7 日）

八館会や社会教育について学ぶ学生との交流会を行った。公民館について意見交換をし、委員部会研修会の DVD 鑑賞を行う等、公民館についての知識を深めた。

(2) 主催講演会（10 月 23 日）

会長より資料 6 について説明した。

5、第 53 回関東甲信越静公民館研究大会（長野県松本市）について

委員 5 名、館長補佐 1 名が参加する。

日時 平成 24 年 9 月 27 日（木）～平成 24 年 9 月 28 日（金）

場所 長野県松本市 松本文化会館 他

テーマ 「明日の公民館を考えよう」

～地方自治の中での人づくり・居場所づくり・地域づくり～

6、その他

(意見等)

委員 市報のサークルメンバーの募集欄が縮小され、掲載を依頼してもなかなか掲載されない。

事務局 市報に掲載すべき事柄が増えており、市としても苦慮している。サークルメンバーの募集については、引き続き、公民館だよりにサークル紹介を掲載していく。

委員 夏休み学習室について、ただ場所を開放するだけでなく、講座と関連を持たせて、教えてもらえる学習室のようなものを実施してはどうか。

事務局 今年度も、特に図書館との隣接、併設館では多くの利用があった。夏休み学習室の利用者は、静かに学習している人が大半なので、講座のようなものを同時に一つの部屋で行うのは難しい。

委員 小平市のホームページのトップページから、公民館のページへの行き方が分かりにくい。イベント情報も整理して見やすくしてほしい。

事務局 今後、リニューアル等があるので、見やすくなるよう努力していく。

委員 小平市の行財政改革について、あり方が検討されているが、その後の進捗状況はどうなっているか。

事務局 地域や分館によって状況が異なるので、各分館主査から利用や施設の状況、今後の方向性についてヒアリングを行っている。行政経営課や政策課とも調整しながら、公民館として考えられることを検討していく。

次回は、12月18日（火）午後1時30分より、中央公民館会議室にて開催する。